

五戸町議会第13回定例会 一般質問通告一覧表

通告 順位	質問 方式	質 問 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨
1	一問 一答	高 奥 浩 明	1. 鎌倉市とのコメ栽培契約について	<p>7月28日の新聞記事で、鎌倉市に『学校給食用のコメを市場価格に関わらず、平時から事前に取り決めた価格で買い取ってもらう構想』が公表された。</p> <p>昨年の米不足の原因は、米の絶対量の不足とも言われており、収入が安定する五戸町の農家にとっても、確保が安定する鎌倉市にとってもメリットのある施策であると感じている。</p> <p>については、鎌倉市とのコメ栽培契約について伺う。</p> <p>(1) 鎌倉市との契約の概要若しくは方針について。</p>
			2. 五戸総合病院の経営収支について	<p>公立病院などが加盟する全国自治体病院協議会から2024年度決算で86%の病院が赤字であるという調査結果が公表された。(有効な回答があった657病院のうち、合算すると3,633億円の赤字。)</p> <p>青森県においても2024年度の決算で青森県立中央病院が過去最大26億5,790万円の赤字となったことが公表されている。</p> <p>また、五戸総合病院においても同様に厳しい状況にある。</p> <p>その状況を打開すべく、令和5年3月には「五戸総合病院の経営改革 提言書」、令和5年12月には「国民健康保険五戸総合病院 経営強化プラン」(令</p>

通告 順位	質問 方式	質 問 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨
				<p>和7年3月に第1回変更) が作成され、いくつかの施策案が提示されており、五戸総合病院のサイトで誰でも閲覧可能である。</p> <p>については、五戸総合病院の経営収支及び施策案の進捗状況について伺う。</p> <p>(1) 五戸総合病院の収支状況について。</p> <p>(2) 「五戸総合病院の経営改革 提言書」の目的及び施策案の実施状況について。</p> <p>(3) 「国民健康保険五戸総合病院 経営強化プラン (第1回変更)」の目的及び施策案の実施状況について。</p>

通告 順位	質問 方式	質 問 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨
2	一 問 一 答	佐々木喜克	1. 放課後子ども教室の安全体制と実施内容の公平性について	<p>本町においても実施されている放課後子ども教室は、地域と学校が連携し、放課後の子どもたちに安全な居場所と多様な体験の機会を提供する重要な取組である。</p> <p>しかし、安全基準が明確でない、学校ごとに活動内容の差が大きい、更にスタッフ不足により受入制限があるなどの課題がある。</p> <p>これらの課題は子どもの安全や育成機会の公平性に関わる重大な問題であり、町としての対応方針を伺う。</p> <p>1 放課後子ども教室の安全対策について</p> <p>(1) 現在、各校で整備している安全マニュアルや危機対応体制の内容はどうか。</p> <p>(2) 指導員やボランティアへの、安全研修はどの程度実施しているか。</p> <p>(3) 万一の事故やトラブル発生時の責任体制、また保険加入状況とその周知は。</p> <p>2 活動格差とスタッフ不足について</p> <p>(1) 放課後子ども教室の実施状況（回数・内容）の差はどの程度あるか。</p> <p>(2) 活動内容や回数の差が生じている主な要因は何か。</p> <p>(3) スタッフ不足により受入制限がある学校の現状はどうか。</p> <p>(4) 人材不足解消に向けた具体的な支援策や、スタッフ確保のための取組は何か。</p> <p>(5) 活動の質を一定以上に保つための共通プログラムや支援体制の導入は検討しているか。</p>

通告 順位	質問 方式	質 問 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨
			2. 修学旅行補助制度 の在り方について	<p>五戸町では、経済的に困窮している家庭を対象とする就学援助制度により、小学校6年生の修学旅行費（22,690円）を補助している。しかし物価高騰により修学旅行費は上昇しており、対象外世帯にも負担感が広がっており、また負担軽減策も講じられてはいない。公平性と教育的意義の観点から、就学援助とは別枠の修学旅行補助制度の設立について伺う。</p> <p>(1) 現行の就学援助制度による修学旅行費補助の概要（対象、補助額、条件、申請方法）及び実績について。</p> <p>(2) 実際の修学旅行費と物価高騰による影響について。</p> <p>(3) 就学援助対象外世帯における修学旅行費負担の現状について。</p> <p>(4) 就学援助制度とは別枠での修学旅行費補助事業の創設の考えについて。</p>

通告 順位	質問 方式	質 問 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨
3	一 問 一 答	柏 田 匡 智	五戸町における今後の財政状況と予算編成について	<p>五戸町における一般会計予算編成において、人口減少等の理由により町税・地方交付税は減少傾向にあり、自主財源割合が少ない中で、財政調整基金等の繰入で成立している現状がある。このままの予算編成では財政調整基金が枯渇するおそれがあるなか大型事業も控えているため、今後の財政状況・予算編成について質問する。</p> <p>(1) 財政調整基金（過去5年分と今後）の推移について。</p> <p>(2) 財政状況が厳しくなった主な理由について。</p> <p>(3) 今後想定される予算額が未確定の大型事業について。</p> <p>(4) 財政改革プラン等の策定予定はあるか。</p>

通告 順位	質問 方式	質 問 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨
4	一 問 一 答	豊 田 孝 夫	1. コメの増産に係る 対応について	<p>国は、昨今のコメ不足、高騰対策からコメ政策の見直しを図り、これまでの減反政策から増産へと方針転換を行う見込みとのことである。これまで、減反政策に理解を示し協力してきた稲作農家がこの方針転換に戸惑っていることも察しが付くが、転作や休耕ですぐには対応できないことも考えられる。</p> <p>ついては、コメ増産対策として何が必要か、行政として何ができるかを伺う。</p> <p>(1) 当町の農地で地目水田となっている面積はいくらか。その中で現在水田として水稻を作付けしている面積と転作している面積、また休耕（休耕せざるを得ない）している面積はいくらか。2015年、2020年、2025年のデータを示していただきたい。</p> <p>(2) 稲作経営体数はどのように推移しているか。前項同様に2015年、2020年、2025年のデータを示していただきたい。また、経営体数の推移からどのようなことが考えられるか。</p> <p>(3) 農業委員会は農地パトロールで現地調査をしていると思うが、休耕（休耕せざるを得ない）している地目水田で復元可能な面積と復元不可能な面積はいくらか。</p> <p>(4) 水田には水が必要なのは当たり前だが、水路の老朽化で水が十分に行き渡らず、田かき、代かきの作業に支障を来しているとの話もよく聞く。水路に関しては土地改良区に任せっきりでよいのか。また、水の確保について行政としてどのように考えているか。</p>

通告 順位	質問 方式	質 問 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨
			2. 農作業事故防止に係る施策について	<p>農林水産省では、令和7年度農作業安全に係る研修ガイドラインを示しているが、農作業時における事故が毎年のように起きている。当町でも7月、トラクターの転落横転事故により男性が亡くなった。事故はいつ、どこで発生するか予見が難しいが、農作業安全の基礎的な研修を実施しておくことでいくらかでも減らすことができると考える。</p> <p>については、行政で農作業安全研修をどのように実施していくかを伺う。</p> <p>(1) 農業機械作業安全基礎研修は実施強化期間を令和7年12月1日から令和8年2月28日と定めているが、地域の実情に応じて期間を変更しても良いとのことである。町ではこの研修を実施する予定はあるか。</p> <p>(2) 熱中症対策に係る研修と未熟練農業者を対象とした研修も示されているが、前項同様実施予定はあるか。</p> <p>(3) トラクターの横転事故で、横転時に機械の下敷きになるのを防ぐロールバーが効果的だが、製造年が早い(古い)トラクターは装着がされていない機種が多く、死亡事故に結び付きやすい。装着を推進する施策はあるか。</p>